

Roland

DUAL TRIGGER PAD **PD-8**

DUAL TRIGGER CYMBAL PAD **CY-8**

KICK TRIGGER PAD **KD-8**

HH CONTROL PEDAL **FD-8**

取扱説明書

このたびは、ローランド・デュアル・トリガー・パッド PD-8／デュアル・トリガー・シンバル・パッド CY-8／キック・トリガー・パッド KD-8／ハイハット・コントロール・ペダル FD-8をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

PD-8／CY-8／KD-8／FD-8をお使いになる前に、ドラム音源のパラメーターを設定してください (P.12)。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2～P.3)と「使用上のご注意」(P.3)をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

© 2003 ローランド株式会社

本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と △ 注意の意味について

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

- この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



- この機器を分解したり、改造したりしないでください。



- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。



- 次のような場所での使用や保存はしないでください。



- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 雨に濡れる場所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所



- この機器の設置には、ローランドが推奨するスタンド（MDS シリーズ）、を使用してください（P.5、P.7）。



警告

- この機器の設置に（MDS シリーズ）を使用する場合、ぐらつくような所や傾いた所に（MDS シリーズ）を設置しないでください。安定した水平な所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な所に設置してください。



- この機器を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。



- お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。



⚠ 注意

- 接続したコードやケーブル類は、複雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。



- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。



⚠ 注意

- ナット、ワッシャー類、ネジ類、アンカー・ボルトなどを外した場合は、小さなお子様が入って飲み込んだりすることのないようお子様の手の届かないところへ保管してください。



使用上のご注意

2～3 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

設置について

- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。また、至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じての振動は意外によく伝わりますので、特に夜間やヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がかからないように注意しましょう。
- 打面部のゴム部品には、性能維持のために劣化防止剤などを添加してあります。時間経過に伴い、これらの添加剤が表面に現れて、白く汚れたように見えたり、製品検査時のスティック痕が見えたりする場合がありますが、製品の性能や機能には影響ありませんので、安心してお使いください。

PD-8

主な特長

- ヘッドとリムのデュアル・トリガー対応パッドです。
- 表現豊かな演奏が可能な、ダイナミクス対応パッドです。
- セッティングの自由度が高い、コンパクトな8.5インチのパッドです。
- 打点位置検出が可能な音源に接続すれば、たく位置による音色変化が得られます

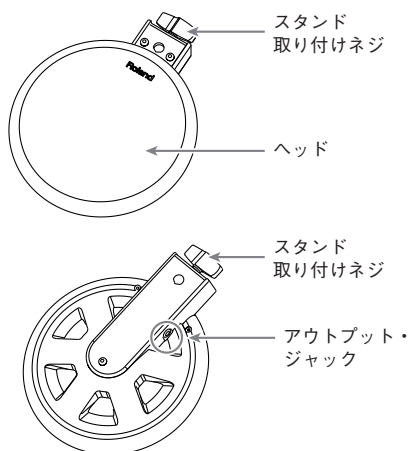


打点位置検出について詳しくは、お使いのドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

パッケージに入っているもの

- ☐ PD-8 (パッド) 本体
- ☐ 接続ケーブル (ステレオ)
- ☒ 取扱説明書 (本書)
- ☐ 保証書

各部の名称



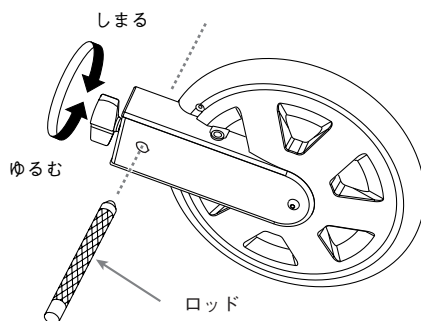
セッティングをする

スタンドに取り付ける

PD-8 をスタンドに取り付けます。



PD-8 をパッド・マウントに取り付けるときは、スタンド取り付けネジを確実に締めてください。確実に取り付けられていないと、パッドが落下してけがをする恐れがあります。



ホルダー内部のパイプにロッドを通してください。



PD-8 を市販のタム・スタンドに取りつける場合は、ロッドの形状を確認してください。ロッドの形状によっては取り付けできないものがあります。

取り付け可能なロッド径：8.5 ～ 11.5mm

ドラム音源に接続する



他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

1. PD-8 のアウトプット・ジャックと、ドラム音源のトリガー・インプット・ジャックを、付属のケーブルで接続します。

付属のケーブルは、L 字型になっているプラグを PD-8 に接続してください。PD-8 に無理な力がかかるのを防ぐことができます。

2. ドラム音源のパラメーターを設定します。

各音源のパラメーターの推奨値は、P.12 をご覧ください。



ドラム音源の設定を行わずにご使用になると、次の症状が出ます。

- 演奏時に音が出ないことがある（音量にムラがある）
- 音が小さい（感度が低い）



ドラム音源のパラメーターの変更方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

PD-8： パッド

パッド・サイズ： 8.5 インチ

トリガー： 2（ヘッド、リム）

外形寸法： 226（幅）× 280（奥行）× 54（高さ）mm

質量： 1.2kg

付属品： 取扱説明書、接続ケーブル、保証書

別売品： パッド・マウント（MDH-7U、MDH-10U）、
 ドラム・スタンド（MDS-3C、MDS-6、
 MDS-8C、MDS-10、MDS-20）



製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

CY-8

主な特長

- 表現豊かな演奏が可能な、ダイナミクス対応シンバル・パッドです。
- 打感触に優れたシンバル用パッドです。シンバル特有の「逃げ」をリアルに再現できます。
- ボウ（上面部）とエッジ部（端部）のたたき分けやチョーク奏法が可能です。

パッケージに入っているもの

- ☐ CY-8（パッド）本体
- ☐ 接続ケーブル（ステレオ）
- ☐ ウイング・ナット



- ☐ フェルト・ワッシャー



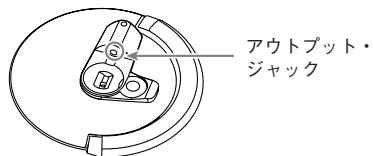
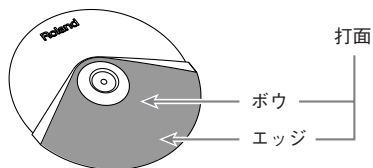
- ☐ まわりどめ



- 取扱説明書（本書）

- ☐ 保証書

各部の名称



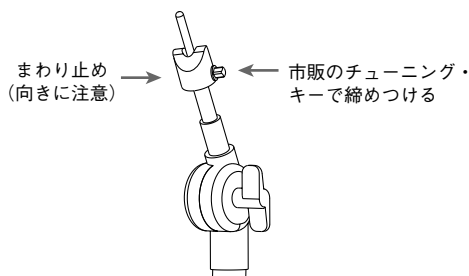
セッティングをする

スタンドに取り付ける

CY-8 をシンバル・マウントに取り付けます。

1. 市販のチューニング・キーでまわり止めのボルトを締めます。

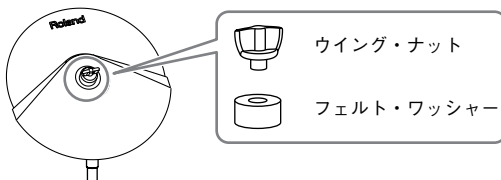
まわり止めはシンバル・パッドの回転を防ぎ、ケーブルが引っ張られたり、スタンドにからまったりしないようにするためのものです。



2. Roland ロゴが演奏者から見て奥側になるように、CY-8 を取り付けます。

3. ウイング・ナットを適度な揺れが得られるように締めます。

フェルト・ワッシャーとウイング・ナットは、CY-8 に付属のものをお使いください。



ウイング・ナットの締めつけがゆるいと2度鳴りすることがあります。

ドラム音源に接続する



他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

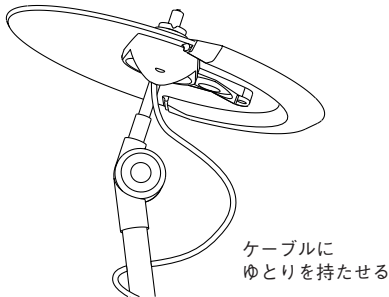
1. CY-8 のアウトプット・ジャックと、ドラム音源のトリガー・インプット・ジャックを、付属のケーブルで接続します。

付属のケーブルは、L 字型になっているプラグを CY-8 に接続してください。CY-8 に無理な力がかかるのを防ぐことができます。



エッジ・ショット、チョーク奏法をするときは、ドラム音源のリム・ショットが可能なトリガー・インプット・ジャックに接続してください。

2. CY-8 をたたいたときの揺れでケーブルが引っ張られないように、ゆとりを持たせた状態にします。



3. ドラム音源のパラメーターを設定します。
各音源のパラメーターの推奨値は、P.12 をご覧ください。



ドラム音源の設定を行わずにご使用になると、次の症状が出ます。

- ・演奏時に音が出ないことがある（音量にムラがある）
- ・音が小さい（感度が低い）

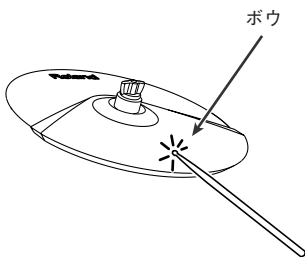


ドラム音源のパラメーターの変更方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

CY-8 の演奏方法

ボウ・ショット

シンバルの打面をたたく最も一般的な奏法です。接続したトリガー・インプットのヘッド側の音色が鳴ります。

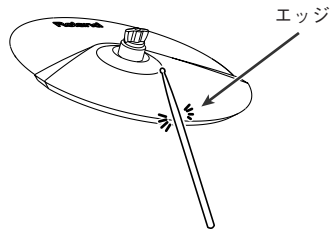


エッジ・ショット

エッジ（シンバルの端）をスティックのショルダー部でたたく奏法です。接続したトリガー・インプットのリム側の音色が鳴ります。



エッジ・ショットをするときは、ドラム音源のリム・ショットが可能なトリガー・インプット・ジャックに接続してください。

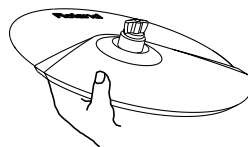


チョーク奏法

シンバルをたたいた後にエッジ付近を手でつかむと発音中の音をミュートできます。



チョーク奏法をするときは、ドラム音源のリム・ショットが可能なトリガー・インプット・ジャックに接続してください。



主な仕様

CY-8：	シンバル・パッド
パッド・サイズ：	12 インチ
トリガー：	2（ボウ、エッジ）
外形寸法：	290（幅）× 295（奥行）× 47（高さ）mm
質量：	650g
付属品：	取扱説明書、接続ケーブル、ウィング・ナット、フェルト・ワッシャー、まわり止め、保証書
別売品：	シンバル・マウント（MDY-7U、MDY-10U） ドラム・スタンド（MDS-3C、MDS-6、MDS-8C、MDS-10、MDS-20）



製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

KD-8

主な特長

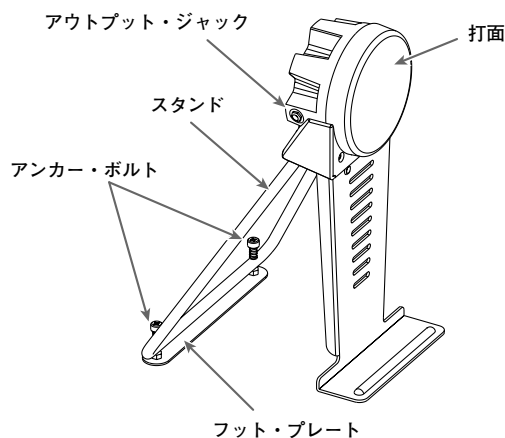
- 表現豊かな演奏が可能な、ダイナミクス対応パッドです。
- 縦型打面の採用により、優れた静粛性を実現。ツイン・ペダルにも対応しています。

パッケージに入っているもの

- ☐ KD-8本体
- ☐ 接続ケーブル
- ☐ 取り付けネジ（本体に付属）
- ☒ 取扱説明書（本書）
- ☐ 保証書

※ このパッケージには、キック・ペダルおよびビーターは含まれていません。KD-8は、市販のキック・ペダルおよびビーターを装着して使用してください。

各部の名称

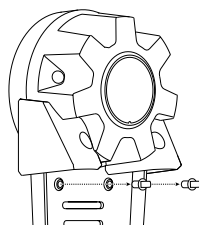


セッティングをする

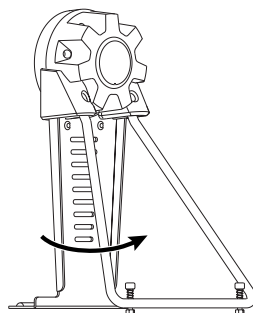


他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

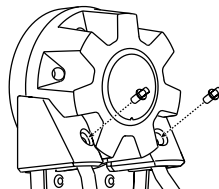
1. KD-8の打面裏に取り付けてあるネジを外します。



2. スタンドを矢印の方向にいっぱいまで引き出します。

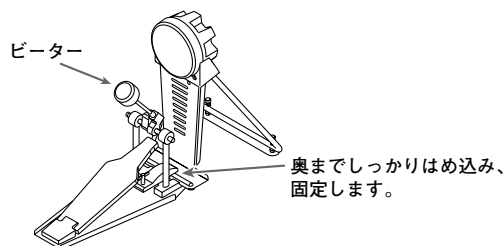


3. 市販のチューニング・キーを使って、1.で取り外したネジを締め、スタンドをしっかりと固定します。



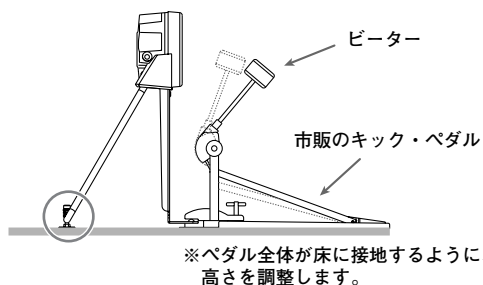
4. キック・ペダルを取り付けます。

ビーターの位置がKD-8の打面中央に来るように調整し、キック・ペダルとKD-8を確実に固定します。

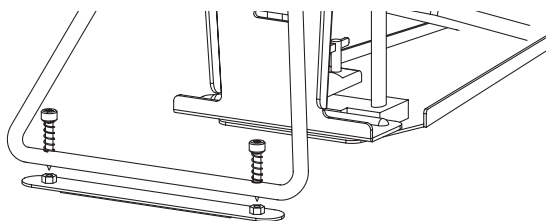


フット・プレートの高さを調整する

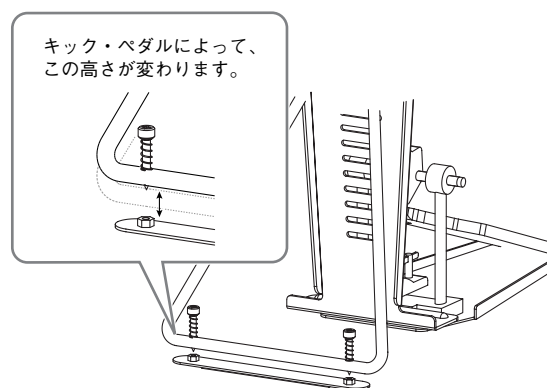
ご使用になるペダルによっては、取付け部が安定しない事があります。安定した演奏を行うために、必ずフット・プレートの高さを調整して、ペダル下部全体が床に接地した状態でご使用ください。



1. スタンドのアンカー・ボルトをゆるめて、フット・プレートを外します。



2. キック・ペダル全体が床に接地するように設置します。
3. 通常、スタンドが若干床より浮き上がりますので、その位置でアンカー・ボルトを締めて、スタンドとフット・プレートとを固定します。



ご注意!

- KD-8 とキック・ペダルを確実にに取り付けてください。
- 指を挟まないよう、十分に注意して作業を行ってください。
- アンカー・ボルトの先端はとがっていますので、取り扱いに注意して作業を行ってください。
- 持ち運びの際は、必ずネジを外し、スタンドを折り畳んでください。開いたままの状態ではKD-8を運ぶと、スタンド部に過度の力が加わり故障の原因となることがあります。

アンカー・ボルトを調節する

じゅうたんの上などでキック・ペダルを使用する場合、アンカー・ボルトの先端をプレートから出して使うと、ペダルが固定され、演奏しやすくなります。

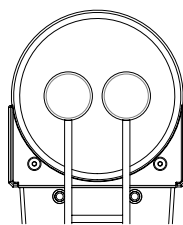
ただし、フローリングなどの床の上でアンカー・ボルトをご使用になりますと、床を傷つける恐れがあります。正しく調節してお使いください。



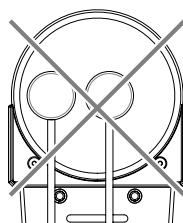
ご注意!

- アンカー・ボルトの先端はとがっていますので、取り扱いに注意して作業を行ってください。

ツイン・ペダルを使う場合



左図のように、左右のピーターがパッドの中心から等しい距離になるようにセットしてください。ピーターの位置がずれると、片方のペダルの音が小さくなったり、正しく発音しなくなったりすることがあります。



また、ツイン・ペダルを使用した場合、シングル・ペダルに比べて感度が低くなります。音源側の感度を上げてください。

ドラム音源に接続する

1. KD-8 のアウトプット・ジャックと、ドラム音源のトリガー・インプット・ジャックを、付属のケーブルで接続します。

付属のケーブルは、L 字型になっているプラグを KD-8 に接続してください。KD-8 に無理な力がかかるのを防ぐことができます。

2. ドラム音源のパラメーターを設定します。

各音源のパラメーターの推奨値は P.12 をご覧ください。



ドラム音源の設定を行わずにご使用になると、次の症状が出ます。

- 演奏時に音が出ないことがある（音量にムラがある）
- 音が小さい（感度が低い）



ドラム音源のパラメーターの変更方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

KD-8：	キック・トリガー・ユニット
外形寸法：	272（幅）× 260（奥行）× 405（高さ）mm
重量：	2.9kg
付属品：	取扱説明書、接続ケーブル、取り付けネジ、保証書



製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

FD-8

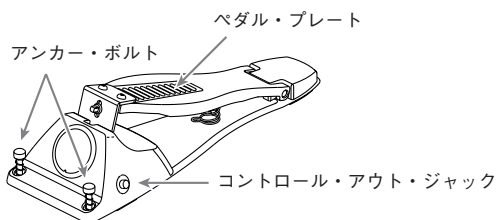
主な特長

ペダル・プレートの角度や踏み具合が自由に調節できるハイハット・コントロール・ペダルです。オープンやクローズ、ハーフ・オープン奏法やオープンからクローズまでの連続的なコントロールなど、表現力豊かなハイハット・ワークが可能です。

パッケージに入っているもの

- ☐ FD-8本体
- ☐ 接続ケーブル
- ☐ チューニング・キー
- ☒ 取扱説明書（本書）
- ☐ 保証書

各部の名称



主な仕様

FD-8 :	ハイハット・コントロール・ペダル
外形寸法 :	130 (幅) × 396 (奥行) × 103 (高さ) mm
重量 :	1.3kg
付属品 :	取扱説明書、接続ケーブル、チューニング・キー、保証書



製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

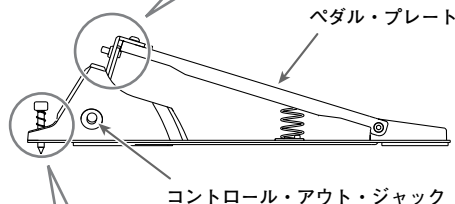
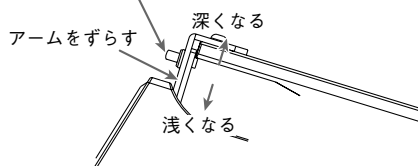
セッティングをする



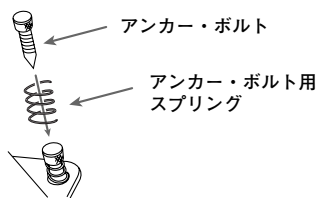
他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

踏み込み量の調整

付属のチューニング・キーでゆるめ、調整後に締めつける



アンカー・ボルトの取り付け（じゅうたんに設置する場合）



- アンカー・ボルトの先端はとがっていますので、取り扱いに注意して作業を行ってください。
- フローリングなどの床の上でアンカー・ボルトをご使用になりますと、床を傷つける恐れがありますので、使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、踏み込み量が深くなるようにアームをずらして固定してから保管してください。
- ペダル・プレートを踏み込んだままの状態でも長時間放置しないでください。故障の原因となります。

ドラム音源に接続する

1. FD-8のコントロール・アウト・ジャックと、ドラム音源のハイハット・コントロール・ジャックを、付属のケーブルで接続します。

付属のケーブルは、L字型になっているプラグをFD-8に接続してください。FD-8に無理な力がかかるのを防ぐことができます。

ドラム音源の推奨設定

PD-8、CY-8、KD-8 を各音源でご使用になるときのトリガー・パラメーターの推奨設定値です。

- パッドの取り付けかたやセッティングする位置などにより、さらにトリガー・パラメーターの調整が必要な場合があります。

TD-10 (TDW-1 V-Cymbal Control、TDW-1)

	PD-8	CY-8	KD-8
Trigger Type	P9A	CrB	KD7
Sensitivity	5	8	10
Threshold	2	3	5
Curve	Linear	Linear	Log1
Scan Time	0.8	2.0	0.8
Retrigger Cancel	4	10	4
Mask Time	8	8	4
Xtalk Cancel	(40)	(40)	(OFF)
Mount Type	Pad Mount	CymMount	Separate

TD-10 (Non expanded)

	PD-8	CY-8	KD-8
Trigger Type	PD9	PD9	KD7
Sensitivity	3	5	7
Threshold	1	1	3
Curve	Linear	Linear	Linear
Scan Time	0.8	2.0	0.8
Retrigger Cancel	1	8	1
Mask Time	8	8	12
Xtalk Cancel	(30)	(30)	(OFF)

TD-8

	PD-8	CY-8	KD-8
Trigger Type	PD-6	CY1	KD7
Sensitivity	6	10	7
Threshold	3	3	3
Curve	LINEAR	LINEAR	LINEAR
Scan Time	0.6	2.0	1.2
Retrig Cancel	3	8	2
Mask Tim	4	8	8
Xtalk Cancel	(30)	(30)	(30)

TD-6

	PD-8	CY-8	KD-8
TrigType	PD6	CY6	KD7
Sensitivity	7	10	9
Threshold	3	3	3
TrigCurve	LINEAR	LINEAR	LINEAR
Xtalk Cancel	(50)	(60)	(20)
Scan Time	1.0	2.0	2.0
Retrig Cancel	3	3	3
Mask Time	4	8	8

SPD-20

	PD-8	CY-8	KD-8
Trig Sens	6	12	11
Trig Threshold	0	1	0
Trig Type	Pd9	Pd5	Kd7
Trig Curve	0	0	1
Scan Time	00	20	08
Retrigger Cancel	2	6	2
Mask Tim	8	12	8
Cross Talk Cance	(40)	(50)	(OFF)
Rim Sensitivity	---	---	---

SPD-S

	PD-8	CY-8	KD-8
InputMode	HD&RM	HD&RM	TRGx2
Type	PD	CY-6	KD
Sensitivity	7	9	9
Threshold	3	3	4
VeloCrv	LINEAR	LINEAR	LINEAR
Scan Time	0.8	2.0	0.8
RegrigCancel	3	4	3
Mask Time	8	8	8
XtalkCancel	(30)	(30)	(30)
Rim Sens	---	---	---
Rim Gain	1.4	1.1	---

HPD-15

	PD-8	CY-8	KD-8
Input Mode	HD/RM	HD/RM	TRIGx2
Trig Type	PD-7	PD-5	KD-7
Trig Sens	9	11	10
Curve	Linear	Linear	Linear
Threshold	3	3	6
Scan Time	1ms	2ms	1ms
Retrig Cancel	2	9	2
Mask Time	6ms	8ms	6ms
X-Talk Rate	OFF	OFF	(40%)
Rim Sens	---	---	---

RM-2

	PD-8	CY-8	KD-8
Input Mode	H-2		H-2
Trigger Type	Pd		Kd
Threshold	3		4
Sensitivity	8		11
Velocity Curve	LG1		Lnr
Scan Time	06		06
Retrigger Cancel	2		4
Crosstalk Cancel	(30)		(off)
Mask Time	8		8
Rim Sensitivity	---		---

TMC-6

	PD-8	CY-8	KD-8
Threshold	3	3	3
Sensitivity	8	10	10
Trig Type	Pd	Cy	Kd
Scan Time	0.8	2.0	0.8
Retrigger Cancel	3	3	2
Mask Time	8	8	8
XTalk Cancel	(30)	(30)	(30)

- ※ パラメーターを変更するときは、まず最初にトリガー・タイプを変更してください。
- ※ HPD-15 および SPD-S は、CY-8、PD-8 のエッジ・ショットには対応していますが、チョーク奏法には対応していません。
- ※ RM-2 は、PD-8 のリム・ショットには対応していません。